

9月は、多くの小中学校で運動会や文化祭、音楽会等の大きな行事が行われ、行事に向けた準備に追われる生活となりがちです。行事が上手くいくかということだけでなく、行事の準備をする過程の中で、子どもたちのかかわりやよさを捉えて、子どもの成長を促すような学級づくりを進めていこうにしましょう。



<小学校>

**音楽活動で 学級に笑顔を！**

朝の会や帰りの会に、音楽活動を取り入れている先生は多いと思います。たまにはこんな活動はいかがですか。

**わらべ歌・手遊び歌**…短い時間で楽しく歌うことができ、斉唱もきれいになります。音を4度ずらして歌うと、ハーモニーが感じられる曲もあります。

**リズム遊び**…リズムの活動もおすすめです。例えば「まねっこリズム」は手→肩→膝のように、たたく場所を変えるだけで楽しさがグンと広がります。

**流行りの歌&ダンス**…子どもたちは、流行りの歌を歌いたがりますよね。そんな時、『サイドステップ』『クラブ2回』等の「ふりつけカード」があれば、簡単な動きを組み合わせ、すぐにダンスができます。シンプルな動きでも、みんなでやると不思議と一体感が生まれます。

一番のポイントは、先生も一緒に楽しむこと！上手じゃなくても大丈夫。先生の笑顔が、子どもたちの笑顔を自然に引き出します♪

**一人一人の考えを尊重する班活動**

班活動は児童にとって“小さな社会”。自分だけがよければよいのではなく、皆が楽しく生活するためのルールが大切です。

そこで、班で話し合ったり何かを決めたりする際に、次のようなことを大切にしてみてください。



- 1 一人一人が自分の意見を言えるようにする（自分の意見をもつ時間をとる）
- 2 友だちの意見は必ず聞く（自分と違う意見でもまず受け入れる）
- 3 安易に多数決にせず、目的に向かって話し合う

小さな社会であるので、そこには人間関係も介在しがち。先生は話し合いを見守りつつ、「目的（ゴール）は何だっけ？」と問い返してください。

<中学校>

**文化祭に向けた学級づくり**

～ポイントは活動に向けた「本気の話合い」～

文化祭が生徒にとって成長の機会となるように、文化祭の準備に合わせた「**本気で話し合う場**」を大切にしましょう。

**「生徒を本気にさせる話合い活動」**

を支える担任の取組

**〇見通しをもった時間の確保【自己決定の場】**

▶自分がクラスのために出来ることを自分自身で決める。（掲示など効果的）

**〇話し合う内容の焦点化【共感的な人間関係づくり】**

▶今頑張っている友だちの姿や思いをみんなで共有する。（画像などあれば効果的）

**〇生徒を「本気」にさせる教師の支援【自己存在感】**

▶結果に左右されず、クラスの目標のために一人一人が頑張っている「過程」に価値を見出す。



学級集団として、文化祭に向けた活動基盤の形成



感動、達成感、成長を自覚できる文化祭へ

**友のよさを認め合う帰りの会の工夫  
「今日の・・・は、〇〇さん」**

「今日の“送りバント”は、〇〇さん。出っぱなしの水道を止め、跳ねた水をきれいに拭いて給食準備に備えてくれました。」…帰りの会で当番の生徒が発表しました。

帰りの会では、その日の取組のがんばりを共有することも大切です。今回の当番は、「さりげなく行動した仲間の姿」を「送りバント」に例えて仲間に伝えました。

単純に「頑張った」「すごい」では気恥ずかしく、紹介しにくいこともあります。ネーミングや表現の仕方を生徒に任せるなど、主体的に生徒が友のよさを発信する工夫をしてみませんか。

